土岐・運・来

一九九七年四月に会を発足して一年。実行委員準備、協賛金集め、バザーなどの事業、そして乗馬会。第一回（一〇月二六日）一八〇人参加。第二回（一一月三〇日）八九人参加。乗馬会でできたつながりをつてに一月に音楽会開催。第三回（二月二二日）六七人参加。第四回（三月一五日）一〇八人参加。いずれも参加した方々の励ましの声と、一日楽しく馬と人と関わった心地よい疲れが忘れられずにこれだけ人が集まったのだと思います。

実行委員会も十九回を重ね、毎月の乗馬会の準備バザーに追われつつも、合間を見てはこれからの夢を語り合い、三月末日に小田原市公園緑地課に「平成子どもの森公園内ふれ合い動物広場」に関しての要望書を提出しました。

新年度始めより、旧三の丸小学校跡地が思うように借りられなくなったという問題を抱えることになりましたが、苦境が知恵とさらなる出会いを生んでくれるものと信じ活動していこうと思います。

「いつもの馬は、どこからくるの？」

答え：根府川の旧道をくねくね行った海も電車も見下ろす所にレストランサドルバックがあり、そこに馬が八頭も住んでいる。

コック兼農夫の高橋行雄さんは、山梨にある木曽馬牧場で馬と出会い、「これからは馬だ」と直感して一頭飼い始めたのが一昨年一二月。翌々月にこの会の発足を知り、その時から全面バックアップしてくださっている。何とも頼もしい限りである。何よりも「馬」を感じて、グリーンの屋根の馬房を自分で建て、みかん畑をならし、トラックを改造してブルーのすてきな馬運車まで作ってしまう行動の人だ。今では、八頭の馬になり、「ミルキー」「オーレ」「ハスキー」「リュウ」「つくし」等と共に暮らしている。

朝八時に餌を食べさせ、晴れた日には、放牧する。夕方にも餌やりや掃除もあるし、仕事は山ほど。自然・馬・人の会には、必ず馬と共に一日一緒に過ごして下さるし、市内の幼稚園等に出張して子ども達が馬に触れ、楽しむ活動もしている。それでも彼はコックだ。これには彼を知恵の人と呼ばせる秘密がある。

馬の他、羊や鶏がレストランの窓辺から見下ろせる。問い合わせをすると馬に乗ることもできる。最近彼の所で手作り馬車が組み立てられているらしい。小田原で馬車に揺られることができる日も近いかもしれない。乞うご期待。

会報　「土岐・運・来」第三号
発行　自然・馬・人の会
発行日　一九九八年五月
問い合わせ先　〒250－0045
小田原市城山1－3－22
代表　桜井　広利
TEL0465-32-1308　FAX0465-32-1332

小田原市への要望書

――――― 平成子どもの森公園内動物広場に関して ―――――

小田原市公園緑地課課長様

１９９８年３月３１日

自然・馬・人の会　代表　　桜井　広利

私たち、「自然・馬・人の会」は、乗馬ができる（年齢や障害の有無に関係なく）場所を小田原に作りたいという願いを叶えるために昨年４月に発足をした会です。

昨年１０月から乗馬会を始め、４回実施してきました。

このたび「平成子どもの森公園」設置のお話を伺い、是非私どもの考えを入れていただきたいと思い、下記の要望書を提出させていただきました。

記

昨今の子ども達が引き起こす事件報道や、引きこもりの子ども、大人が急増している現状を聞くにつけ、今の子ども達に必要な物、足りない物は何だろうと考えさせられます。

多くの要因が考えられますが、ゲーム機と向き合う時間が長く、大自然のもとで人間を含む生き物との関わりが極端に減ってきているのも一因ではないかと思われます。

大自然相手では、自分の思い通りに行かず、我慢したり自分のやり方を否応なく変えさせられる経験をします。この考えは、私たちが今すばらしいと思い進めている馬との関わりでも言えます。小動物相手では、人間側の少々の無理は通せてしまいます。一方、馬は体が大きく、思うようにいかないことも多々あります。しかしその反面、性格は穏やかで世話をする側の気持ちが通いやすい動物でもあります。更に馬には、騎乗という挑戦する適度な緊張や楽しみ（他の動物にはない特徴）があります。更に、馬を介することで人と人の関わりがスムーズにいく効果もあります。

これらの関わりは、子どもだけではなく、すべての人（お年寄りにとっても）に大変有効だと思われます。

今私どもの会で昨年１０月から行ってきた乗馬会（４回実施）でも、多くの人（延べ５５０人余り）が馬とふれあい、乗馬を楽しんできました。

小田原市では、平成子どもの森公園内に動物広場を開設し、馬を飼うとお聞きしました。その運営に当たりましては、是非下記のような私たちの考えを入れてくださいますよう、切に願う次第であります。

具体的な意見

１．利用者について

☆子どもだけでなく全ての人（年齢に関係なく、障害などに関係なく）利用できる施設にし、その旨を広報して欲しい。

そのために、小さい馬のみでなく大人が乗れる大きさの馬も入れて欲しい。

☆サポートが必要な人は、申し出てもらう。いつでもサポートができるような体制にする。

（ボランティアの登録をしてもらっておく。私たちの会でもバックアップするつもりでいます。）

２．受付枠と利用時間枠

☆当日来た人が順番に騎乗できるタイプと事前に申し込むタイプの両方を設けて欲しい。

（事前に申し込むタイプは会員制などにし、プログラムが進むようにして欲しい）

☆個人利用の時間帯と団体利用の枠を作って欲しい。（私どもの会が利用するのみではなく、幼稚園、保育園を始め、就学前の通園施設、学校、障害のある方や老人の通園・入所施設なども利用できる）

利用タイプ		利用できる曜日や時間帯		料　金	利　用　形　態
当日	個人	事前受付の時間帯以外随時		無料か１００円程度	当日来て申し込む。馬場を２周程度引き馬する。
予約	個人	平日	学校の放課後	無料か会費制にする。料金は、１ヶ月千円程度	事前申し込み、会員制 障害のない子ども達は、軽乗などを行うと一定時間にたくさんの子ども達が楽しめる。 プログラムを決めそのプログラムが進むようにする。 ３０分から１時間程度行う。
		休日祭日	月３回程度		
	団体	平日	午前中	無料か１回千円程度	決められた期日までに申し込む。
		休日祭日	月１，２回程度		

３．乗馬以外の関わり方

☆騎乗するだけではなく、馬の世話もさせて欲しい。（ブラッシング、馬房掃除、餌やり）

☆馬の世話、準備運動などの活動を行うときに、参加者相互の関わりなどを組んで欲しい。

回　答　書

公　第27号
平成10年 4月30日

自然・馬・人の会
代表　桜井　広利　様

小田原市建設部公園緑地課長
石　井　徹

日ごろから本市の行政につきましてご協力をいただき、誠にありがとうございます。
さて、現在整備を進めている（仮称）子供のもり公園の整備、運営ついて要望書をお寄せいただきましたので、次のとおり回答いたします。

1．利用者について
（仮称）子供のもり公園を年齢、障害等関係なく全ての人に利用できるよう整備していただき、又、公園にサポート（ボランティア）体制を導入してほしい。
Ans.　（仮称）子供のもり公園の利用者は、原則として、全ての方に利用してもらうよう公園整備を進めていますが、やむを得ず、公園の整備目的や地形的な条件により、身障者やお年寄りには制限のつく施設も場合にはありますので、サポート体制は必要に応じて考えていきたいと思っております。

2．受付枠と利用時間枠
ポニー乗場の申込み方法の受付枠を当日制と予約制、利用時間枠を個人利用と団体利用の枠を設けて頂きたい。
Ans.　ポニー乗場の運営方針については、現段階では決定しておりませんので、今後の検討課題として参考させていただきと思っております。

3．乗馬以外の関わり方
ポニー乗場の運営において、ポニーに騎乗するだけでなくポニーの世話もさせて頂きたい。
Ans.　(3)と同様運営方法の詳細については決定しておりませんので、今後の検討課題として参考させていただきと思っております。

事務担当：計画整備係
☎３３－１５８２

協賛金

四万四千二百円（一九九七年十一月十七日～一九九八年三月三十一日まで）

協賛者

雲遊天山・岩間幸悦・熊倉より子・磯崎真澄・高橋良介・天野嶋美・森進・岩瀬照子（モビノア）・天野一芳・天野モト子・宮川利通・太田和江・小宮和子・原田鏡子・野沢浩・門脇義昭・門脇敦子

実行委員

天野恵子・天野謙二・小野徳子・加藤憲一・木下雅代・桜井広利・佐田由美子・佐田善朗・澤野恵美・関野政一・高崎康二・竹村弘子・土屋真一・寺岡まり子・中村悦子・長橋えつ子・貫井・福島高男・三村由子・村上幸子・村山容子・村山ますみ・森裕美子・森進・諸星澄江・近藤徹

ボランティア会員

北村治・木村恭子・京増敏彦・坂本明子・志澤浩実・清水順子・瀧田恵美子・田所清人・本田はま子・前田由美子・山崎朋子

ボランティア募集

一緒に活動してくれる仲間を募集しています。ボランティアをしてみたい。小田原で馬に乗ってみたい。自然がすき。いろんな人とめぐり逢いたい。そんな方々、少しでも「楽しそうだな」と思ったら、さっそくご連絡ください。次の二つの種類があります。

①実行委員

主として、月一回程度土・日に会合して会の運営に当たります。年会費二千四百円。

②乗馬会当日ボランティア

乗馬会のみ参加。バザーや乗馬でのお手伝いです。乗馬についての研修はします。参加費は無料です。

どちらも高校生以上。実行委員もボランティアも障害のあるなしは問いませんお時間の許す範囲でのご参加をお待ちしています。

申し込み・問い合わせは、発行元まで。電話かファクス・手紙でお願い致します。お近くに実行委員がいる場合は、直接申し込まれてもかまいません。

会費について

会費は通信費、事務費、用具の購入等に使われます。先年度の会費はそれらの費用にほぼ使われました。そのため今年度は、会費を二千四百円と倍額とさせていただきました。今年度は中途入会者は月計算で減額します。会計年度は四月から三月までとします。

昨年の会費を三月で切り替えましたが、その説明が行き届かずご迷惑をかけたことをお詫びします。

会費・協賛金の払い込みのお願い

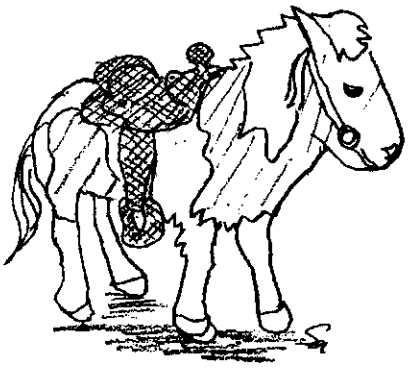
小田原で自然と人とが触れ合い、乗馬療法の場が実現できるように、今後ともご協力をお願いいたします。

会員　年会費　二千四百円（郵便振替）
　　保険料　中学生まで四百五十円
　　右記以外　千四百円

協賛金　一口千円（現金書留または郵便振替）

振込み先　00270-4-79944
　　自然・馬・人の会　桜井　広利
　　TEL　0465-32-1308
　　F　0465-32-1332

乗馬会のお知らせ

うれしいお知らせです。六月と七月も乗馬会が開けることになりました。

日時　六月十四日（日）九時半より
　　七月十二日（日）十五時半まで
場所　旧三の丸小学校跡地
　　（城址公園内　歴史見聞館裏）